

1. 件 名：「日本原燃(株)再処理施設の事業変更許可申請（有毒ガス防護、廃棄物貯蔵系の共用）に係るヒアリング（14）」

2. 日 時：令和3年12月17日（金）13時30分～14時30分

3. 場 所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 核燃料施設審査部門

古作企画調査官、田尻主任安全審査官、上出安全審査官、藤原安全審査官、河原崎安全審査専門職、高梨安全審査専門職

日本原燃株式会社 松田 常務執行役員 他9名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和3年4月28日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設に関する事業変更許可申請を受理」

https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000081.html

- ・ 令和3年12月15日

「日本原燃(株)再処理施設の事業変更許可申請（有毒ガス防護、廃棄物貯蔵系の共用）に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい。規制庁タカナシです。それではただいまから平成3年12月15日に提出のありました。日本原燃株式会社再処理事業所の再処理事業変更許可申請に係る今後の進め方についてという。
0:00:15	資料につきまして、本日はヒアリング的ヒアリングをいたします。
0:00:20	まずはヒアリング炊き出しまで注意事項を申し上げます。
0:00:25	本日も録音対応によるヒアリングを行いますので、不開示情報等の発言はしないようにしていただきましてしまった場合には速やかに申し出るようにしてください。
0:00:35	また発言しない場合には、マイクをみてる等にさせていただきようお願いいたします。
0:00:41	そう例ってパッカーと発言に当たりましては、スズキ等の名前を言ってから発言をするようにしてください。
0:00:49	それではまずは
0:00:52	議事先出しまして、規制庁側出席者紹介いたします。本町会議室からはコサク調査官ヘタジリ、フジワラタカナシ、それからウエルからカミデカワラサキになります。
0:01:06	それでは技日本原燃ながら出席者の紹介をお願いいたします。
0:01:11	はい、日本原燃の出席者を紹介します。日本原燃のスガワラです。出席者ですが、マツダスズキ、オオバ、タカハシハマダぱぱらオクデササキ、イセダaスガワラ以上のメンバーで対応させていただきます。
0:01:30	支店長とかがですね。ありがとうございます。それではまず初めにですね、日本原燃から並列本日の提出されました資料のところの説明につきの概要につきまして簡単に御説明をお願いいたします。
0:01:49	はい。日本原燃の牧でございます。本日の資料に関しまして概要は御説明させていただきます。本日の資料は前回の12月9日のヒアリングを受けまして社内いいる検討いたしまして、
0:02:04	まず第1のポイントは再処理施設の安全設計の全体像をお示しその中の有毒ガスというハザードの位置付けをしました。もう出せ思った検討を展開するということの必要性、それはほぼ、この資料に反映するというようにしてございます。
0:02:25	その趣旨からこの資料はですね、検討すべき全体像、つまり、あるべき姿ですね、それに関して、それとこれまでも申請させていただいて調査検討しているものでございますので、それに対して加えるべき事項、こういったものまでを示させていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:45	そういうような資料構成でございますので、これからのこちらのその内容ですね、個別に御説明させていただきたいと思っております。よろしくお願いたします。
0:02:59	廃液程度カミデ日本原燃の入れていこうと。
0:03:02	日本原燃のオクデでございます。
0:03:06	それでは資料について、
0:03:10	説明させていただきます。2 ページ目をご覧ください。iPhoneタカナシです。すみませんちょっとすみません。
0:03:18	個別の細かい説明は特に必要はなくて何かポイントとかですねここだけはちょっと説明を補足しておけというところがあれば説明のほうをお願いします。
0:03:33	オクデでございます。承知しました。であれば今言った通りこの資料のポイントとなるところが全体像を再処理施設の安全設計の全体像に対して裕度がこの位置付けというところなんでが一つなので、まずその3 ページ目を説明させていただきます、
0:03:50	ここの部分については、
0:03:54	再処理施設安全設計の全体像とその中の裕度確保の位置付けというところを記載膨らませまして、3 ページ上の枠の3 ポツ目のところですね、ここで作業か環境条件、これが融度9月。
0:04:10	ノウハウが一つ当てはまるんだというところでスズキ有毒ガスっていうのはこの安全設計という大きな枠の中のここの部分に当てはまるというところを示させていただきました。どうしたの枠のところにそういったことが書いておまして、下の枠の2 ポツのところですねこれが上の枠の3 ポツ目のところの環境条件、
0:04:30	有毒ガスっていうところで言い換えて書いてあるところなんで、これが基本的な考え有毒ガスについての考え方ということになると思っておりますのでこれをもう少し天体さんは4 ページ目、5 ページ目というところになります。
0:04:46	次にですね今回新規で追加したところの6 ページ目と7 ページ目があるんですけども、ここがこういった考え方に基づいて今までやってきたこと等、これからやっていくことっていうところをしっかりと示す必要があるというふうに
0:05:03	考えましたので、そういったような整理をしております。具体的に言うと、この表のところでもとめてるんですけども、この項目のところは4 ページ目5 ページ目に書いてあるような有毒ガス防護の考え方を書き下したところで、
0:05:21	本来の実施事項というところにそれを書き下しまして、これまで実施してきたことを書いてこれを当てはめていったときに埋まらないものっていうのを今後整備する事項というところに出していくとこういったところを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:38	こういうふうに今後整理しないといけないところっていうのを洗い出しましてこれを、これを合理的にきちんと説明していきたいなというふうに我々として考えております。説明としては以上です。
0:05:53	背景規制というお話ですありがとうございます。それでは内容の確認のほうに移りたいと思います。それでは規制庁の側から確認をさせていただきます。
0:06:04	客先最初には計上タカナシで最初は私のほうからちょっと確認幾つか確認をさせていただきますと思います。
0:06:11	今回から9日のヒアリングを受けるということで、資料 ^o だしてお話ししたいしておりますけれどもそれで税前からいくというのは普通のところであるんですが、結果的にはおそらく、全体を通じてリンクした形になってると思いますので、一応今回、
0:06:28	追加された六、七ページ実行中のところを見ながら前に戻って確認というような形だとらせていただきます。
0:06:37	それで今御説明会計上のタカナシです。今ご説明があったように、67ページのところにこの表のところっていうのは、前半で整理していただいている。その法定方針ですね、そちらに沿ってですね、やや本来やるべきことの全体が一番左側の列
0:06:54	真ん中にこれまでにやったところですかネタがあるところですね一番右側にそれを差し引いて今後やらなければいけないことというような整理をされているという御説明だったんですが、ちょっとこの資料については資料の分には設定約回ってかもしませんが、
0:07:11	ちょっと非常に考え方でいうところもあるので、その点で少し補足の説明をちょっとしていただこうと思います。
0:07:18	まず一つ目としましては、6ページ目でいいの①のところですね、実際削孔出発のいわゆる網羅性、網羅的全体ということだったので、一応想定されてるその有毒ガスの発生のメカニズム、それからその関連する物質ですね。
0:07:34	そういったところについて、どのように考えることがどのようなところまで考えているのかというのをまとめて確認のためにご説明いただけますでしょうか。
0:07:47	日本原燃のこれでございます。ここの部分ですわですが発生のメーカーに有毒ガスの発生メカニズムということで、我々化学物質を取り扱ってるということではいろいろな知見もあつたりしますし、それ以外でも、
0:08:03	例えば火災であつたり火山こういったところを考えると有毒ガスというものを考えてたりします。さらに居いますと、前回のヒアリングモデルでも出たんですけれども微生物による分解だつたりとか、そういった

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:20	いろいろな世間一般でも知見として有毒ガスが出るというような文献ありますので、そういったところを調べ上げて発生メカニズムっていうのを再処理施設またはその周辺で起こるような起こると考えられるような発生メカニズムを網羅的に抽出するということをここでやるというふうに書いております。
0:08:42	はい。規制庁でさ、規制庁タカナシです。ありがとうございます。ちょっと今の点について少し補足の確認をさせてさせていただきたいのですが、今の話でかなり語学部とそれからそれ以外にもですねかなり広い範囲で町は対象にするというような話ではあったんですが、
0:08:59	スプレーに関して少しも若干資料の言葉で言ったところも入ってくるかもしれませんが、その確認といたしまして一つは、例えば今突破実際の化学反応とか或いはその家財その他というの伸びによる発生というのは考えているということなんですが、例えばその、まあじゃあ二次的転用する。
0:09:18	反応そのもので発生するものは対して有力じゃなくてもその発生したものをさらに次の別の水が反応してなんかガス有毒ガスが発生するとそういうところまで考えないということかという点と、それからあと、
0:09:33	もう1点はちょっとツガネ詰め言葉じりかもしれませんが、この6ページの①のbのところの一番右側のところの事項の中に、
0:09:41	例えば一つ、一つ目のポツで反転反応性が乏しい鋼材のような感じでちょっと何か対象額として限定されてるような記載があるんですがこれはこれまでの期間の事項の中で、反応性のあるような物質を考えていて残るという意味なのかといっても何か。
0:09:59	特別の意味があるのかということをおちょっと御説明いただけますでしょうか。
0:10:06	日本原燃のオクデでございます。まず最初にご質問のあった日的な発生するものまで考えるのかということではそこは考えます。そういったものは例えば発生したものがさらにほかのものと接触することで発生するとか、
0:10:24	二次的に発生するものがこれ燃焼して、また違う有毒ガスになったりとかそういうこともありますので、そういったメカニズムその連鎖的に起こるメカニズムまで含めて確認するということを考えております。
0:10:39	次にBのところの反応性に乏しいというところの記載はこれはこれまでの実績時価実施事項のところの反応性を有するって書いてあるんですけど、これ以外という意味で、書いておましてはちょっと乏しいという、全くないっていうところが
0:10:57	名か調べないのかっていうような形にとられた取られるようなちょっと記載になってますけども我々の意図としてはいうⅢに対する反対ではそれ以外という意味で記載しております。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:13	規制庁タカナシです。ありがとうございます。今のお話だと一応絶対考えられるところは範囲網羅していったらやるというような御説明だったかと思しますので、その範囲に絞らないように検討を進めていただければということになると思います。はい。
0:11:28	ありがとうございます。続きまして経常タカナシですけども、その先ですね②以降のところではにつきましては、ちょっと細かいところではないんですが、本来の実施事項とですね今後実施する事故が6ページの7ページもそうなんですが、
0:11:44	ちょっとこの記載としては、期待の分量の関係かもしれませんがちょっとやっぱオオハシ的なところになっていて、具体的にこう差分といいますのはどういことをやるのが少し見えないところがあるので、そこを少し補足説明についていただければと思います。例えばですね。
0:12:00	6ページで言うと②のbのところ、本来の実施事項が設計上考慮する必要ごとに発生が当然される誘導有毒ガスの整理となっていて、一番右が行くと、設計上考慮だけで何とか破碎防災性比で割ってるだけでちょっとこの違いなのでちょっとその、
0:12:17	それが少しわかりにくいということがあるので、
0:12:20	今の点ですとか、7ページ目でも例えば、②のほうのAとかBのところはやはり同じような形になっているので、その辺のところについて少しもう少し具体的なその御考えていますか。まとめのイメージのものをちょっと聞かせいただけますでしょうか。
0:12:39	日本原燃のオクデでございます。それでは少し説明させていただきます。まず今50Aトレイとしてご質問があった②-bなんですけれどもコアのここはその上のほうで発生原因の整理を網羅的にやった上で投影のところ発生する事象ごとに
0:12:58	こういう事象では、こういった有毒ガスの発生要因になりうるものってそういうような整理をしまして、Eのところ実際に例えば設計基準事故の金となるような内的な事象のときには、
0:13:15	単一故障を考えるので化学薬品のちょっとからの漏えいは考えないとかですね、そういったところを整理していくというのが本来実施する事項だというふうに考えております。一方でですねパーク物質につきましてはこれまでの実施事項で書いてある通り、
0:13:34	漏えいするとこういうような有毒ガスが出るっていうところは我々整理していると考えております。一方で先ほどのメカニズムの中で火災とか火山とか、そう

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	いったものを抱かせていただきましたが、そういったものは既許可の中で、基本的に整理されてまして今回のこれまでの実施事項でも、
0:13:52	コメントを受けまして許可の中で幅広に有毒ガスに関係するところというところを整理しておりますので、そういったところを今後整理する事項の中で、全体がこういうものでそのうち2の尤度がついてとか、個別に関係するところはこういうふうに整理しましたと。
0:14:12	火山とか火災のところは、既許可の中でこういうふうに整理していますというところでこれまで積み上げてきたものを再整理するというような意味で、ここは再整理というように記載した指定いただいています。
0:14:28	次7ページに行きまして7ページも基本的に今説明させていただいたようなところで、本来実施する事項っていうのに対して、これまで、もうすでにやっているとあったり、あと既許可とかオオオカ区域許可とか
0:14:46	もっと掘り下げて確認したりと言っていたところをこの設計上考慮する事象ごとというところで、今まではだから設計基準だったり、重大事故だったりっていうのが本来違うことを考えるべきだったのに一緒に考えていましたので、
0:15:03	その一緒に考えているところについて設計基準でそれは使えるのかどうかと、使えるのであれば、こういう理由で今まで考えていたとの情報は使えるので。その通りに評価しますと、
0:15:18	もし伝えないところだったり既許可でもうすでに考えてるところ、そういうものがあれば、これは既許可でこういうふうに考えているので、こういうふうに整理しましたと、そういったところを再整理し、し直していくと。
0:15:33	そういうような意味で公債整理というような言葉を使っております。
0:15:38	①、①のAとBだったり、②の②のだったりというのはAとBだったりとかそういうのはそういうふうに記載しておりますんで丸2のほうなんかは、補足と書いてあるんですが、ここもですね
0:15:54	これまで一番最初に4月に提出させていただいたものはもう本当にガイドっていうものを考えて整理していましたので、不十分でした。ただ、これまでのヒアリングの中で来許可をきちんと確認しなさいとか、
0:16:10	当該同和それなさいというところである程度確認全くやってこなかったら本来実施の実施事項に対して全くやってこなかったというわけではなくて、ある程度情報としては積み上げているものがありますので、そういったものを整理したり、あとは

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:27	積上げてたんですけど、その時に再処理施設の安全設計というところの目線でこう切り既許可を切り取ったりっていうのを切り取って説明したりっていうのをしていなかったの、その切り取りをもう一度きちんと確認して付す。
0:16:43	まず切取してる中で情報として不足なものがあったらそれを補足したりという、そういうようなことをやる必要があるというふうに考えております。ちょっとすみません私今の説明も抽象的だったかもしれないんですけども、我々のイメージとしてはそういうことをやるというのを考えております。
0:17:01	以上です。
0:17:05	はい。規制庁の高橋です。ちょっと整備するとか、私の理解を整理させていただくと、再整理と言っている部分はある程度もう、これまでの検討とか或いは許可の中で、それなりについ考えがあって、それを
0:17:25	今回 20 歳 2。
0:17:27	に合わせた抵抗ハセガワはめ込むというような作業が中心が要は新しく何かやるということよりはそういうことが多いという話で、補足と書いてあるところはそれはあるけど足りないところがあればそれもちょっと補うと海だからということ。
0:17:41	の理解になるんでしょ、そんなような理解でよろしいんでしょうかね。
0:17:49	日本原燃のオクデです。基本的にはそういう考え方です。ちょっとプラスして補足っていうところはですね補足っていうのは我々として考えてたんですけども、きちんと説明してなかった部分があるというのが青と考えてましてその部分を来てるか説明するっていう意味も、
0:18:10	補足には含めてます。基本的に我々それなりに積み上げてきたと思っておりますので、1 からこう考えており全く新しいことを御説明しなければならないということはないと思っておりますので、やっぱり考えてきたことを
0:18:25	再処理施設の安全設計という枠組みの中で必要なものをピックアップしてきちんと説明すると、そういうことを考えております。
0:18:35	はい。期生とタカナシですとわかります。ありがとうございます。そういった形でいうと、例えば、7 ページの①のところにあるような、例えば一番上の所得るところとこれまで実施したっていう形を採水だっていうのは、今おっしゃったように、
0:18:53	塔屋内容としてはこれまで実施してきていて、けども整理がちょっと十分でなかったっていうご説明だと自分でなかったところをもう一度ちゃんとやって改めて説明しますというような理解というような意味ということなんですかね。
0:19:11	という理解でよろしいでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:15	日本原燃のオクデです。その通りの理解していただければ、問題ないと思います。以上です。
0:19:24	はい。日本原燃のマツダですけども、今ご指摘いただいた点例えば今6ページ目の丸2-Bは確かにその日が今申し上げた通り、設計上考慮する事象ごとというところ、こここのところが、今後、
0:19:42	次にする事項としてありますという説明なんですけど、ただ、本来実施すること、再整理体裁の言葉が入っただけだとページの成果もあるんですけど自主の制約もありますけれども、
0:19:59	今、オクデのほうから説明した通り、今までやってきたことを、この事象ごとということがですね、読んでわかるようにですねちょっと言葉を足させていただきたいというふうに思います。
0:20:15	規制庁タカハシです。介護で見てもあんまりこう細かいところを達する出してそれはそれでまたいろんな発散する可能性もありますので徹底的なんですよね。うまく分かれる安くないような範囲ですね、少し修正いただくにはそのような形で対応いただければというふうに思います。
0:20:35	はい、日本原燃のマツダで承知いたしました。ありがとうございます。
0:20:40	すみません、古作ですけど、
0:20:45	開口の資料はどうでもいいんですけど、結局、
0:20:52	うん。
0:20:54	皆さんが考えていることっていうのがこちら等認識が合ってるのかっていうことを確認することなので、
0:21:06	何かDBSAってやっぱり想定するレベル感が違うので、それぞれ考える必要がありますよねと認識を新たにしましたということはわかるんですけど。
0:21:17	それにそのときに、じゃあDBってどういうところまで考えですか。不正ってどういうことまで考えるんですかっていうところのイメージっていうのがあってないといけなと思うんですけど、そのあたりってどうなってるんでしょうか。
0:21:40	日本原燃の小出でございます。BDDBAでどういうふうに考えるかですが、dB能段階ことについてはやはり巻き許可のときに考えている事象はすぐすべてすべからくというふうに考えておりますので、
0:21:57	過渡的な変化というものであったり、あとはDBAへDBAの設計基準事故そのものであったり、さらにはその設計基準事項を引き起こすっていうんですかね、引き起こす元となるものを、ここはあの設計器A許可の中ではきちんとか、
0:22:17	全部が出ておりませんが背景としてdBを出す背景としては、我々考えてきたっていうような歴史がありますので、そこを紐解いて、その時にそうそういう金に

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:34	よって発生する有毒ガスっていうのも考えようと思っています。一方で、SAのほうは時委員から重大事故まで含めて、しっかり秒間の中で整理して説明していますので、そこを
0:22:49	そこで書かれている事象をすべてというような形を考えていただいて規制庁の田尻ですとかよくわからなくなってきたんで頭整理したいんですけど。
0:22:59	今言われたのっていうのは、7選挙から言ってるやつから変わりありませんとかそういうことを言いたかったんですか。なんかね、ちょっと今何を言われたのかよくわからないところがあって、PPBレベルイセダに弁内容想定するかっていうところを聳だけの話で終わってるんですけど今おっしゃられたのって何か想定する。
0:23:18	事象のメニューは用意として何を想定するdBというイセダと自然現象だったら一定にSsが出ていってるSあたりとか触ったりせそういう話ですか。全く違う話ですかって、
0:23:32	日本原燃のオクデでございます。説明させていただいたかったのはどういうレベルっていう意味ではBDBAであれば、1.0ですCSAであれば一遍にSs数は1.0を超える部分ということまで考えますとそういう意味です。
0:23:52	できれば率が並んで結局から心からDBとして想定条件が決まっています性としてのそういう条件が決まっています、それを今日は有毒ガスの観点でいく当てはめてみてどういうのを想定するかを考えていたとかそういうことでいいですか。
0:24:11	日本原燃のオクデですよねとそういうことで、そういうことです。はい。以上です。たりフツ素までちょっとやっぱ表現ぶりだけでもちょっとよくわからなくなってきたんで確認なんですけど、例えば3ページとか、
0:24:24	程度考慮する事象っていうのはこれDBSAということでもいいんですけど。
0:24:32	或いは被許可等の日程上、来とか妥当SAって設計上の想定を超える条件ってないですか。
0:24:40	設計上考慮する場っていうのは、そこはもういけ切り離れた言葉として今存在していて、DBなDB条件イセダ冷静条件としての事象とかという意味ですかね。とりあえず、
0:24:58	ございます。我々としてこの設計上程使っている言葉ですねと重大事故のときには設計条件を超えることを考えるとこれも設計の内数という意味で、設計上考慮する事象というふうに書いておりますので、ここで言ってる設計上考慮する事象っていうのは、
0:25:16	DBAであったりSAであったり、さらにはDBAと改正を引き起こす数金となる事象であったり、さらにはdBを聞く回数は引き起こさないですけども、例えば外部へ衝撃だったり、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:31	地震とか火災だったり、そういった最初に施設に衝撃を与えるような事象であったりそういったものを全部ひっくるめて、設計上考慮する事象ということを書いておましてそれらに対して一つ一つ有毒ガスが発生するかどうかというのを考えていくと、そういうようなことを意味しています。
0:25:50	規制庁田尻です。結局物置オオバでやっていたB条件としてDBとして外部事象を想定して足し合わせ基準日戸建財布補助想定していただいてもそういう薬のDB条件一定で平成条件下で生成条件であるところプラスアルファの条件を想定してもSAで決まっています。そこってのは、
0:26:08	横の言葉であらわさっているのは私これパイプラインですけど、不自然とか考え方的に用い性状影響出ないともっといい設計、この言葉ってというのがパワポだけのっていうなら、なんかそんな感じで見さしてもらおう流そうかなと思ったんですけど。
0:26:28	伝えますとこれパワーポイントで全体の枠組みってものを簡潔に説明するときに使っている言葉ですので、申請書のところにこういった言葉が新たにおっきな概念として入ってくるってことは考えておりませんでした。
0:26:43	規制庁たりせなんで申請された理由等でいけば表現いろいろ変わってくればというとなんかそんなことはなくて、DBとして外部事象を想定しますよとか、体制としてはパッケージ条件としてこういう想定しますよっていう北方変わらないから、結果的に言うと、さっきのこれ戻ってくるんですけど
0:27:00	設計上考慮する事象ってというのは、結局のところは今まで説明受けてどのレベルそれともっとここを少し気にはなったんですけど、例えば有毒ガスのガイドの話は時あそこスタート時点でのやめて欲しいんですけど、有毒ガスのガイドって何か全量漏えいを想定するとかなんかを見てもですねえすか。
0:27:19	はい、じゃあ設計上想定次第でしょうかっていうと、何か特殊事情になっていて、あれはDBレベルSEレベルでいうと、今までいなかったような想定じゃないですか。あれってどこに行くんですけど、それを設計上考慮する事象のRILレベルSED何レベル。
0:27:39	ございます。その全量漏えいするってというのは今までも割と考えられないというところでそのDBAでもSAでも考えていませんでした。今回有毒ガスだとGuideレベルはそういうような話がありますが我々、
0:27:59	としては、BDBAきっちり評価のところの説明させていただいてる設定させていただいているDBAレベルSAレベルそういうものを考えると、なんていう場合へ
0:28:15	でもそういうものを考えると、こうあるある場面では全量漏えいではなくて、これとこれとこれの有毒ガスが発生しますよと、税ものを全部並べていって最終的にはですね、そういったものを全部包絡する形で一つの表ある評価をすると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:32	それと全量漏えいを考えて全量漏えいというものを考えて評価してみたらこう いう結果になってそれらは全部の当間常務条件っていうか一つ一つ積み上げ た条件に当てはまるので、それについて考え、
0:28:49	それをもとに説明していきますっていうようなことになるんなるというするとい うふうに今考えております。
0:28:57	規制庁田尻ですっていうものがないようでわからなくなってきてるんですけど 今の説明は結局全量同意をとって何かいろいろ今までのDB気配りDBの条 件でもいろいろ想定したりせん話とかいろいろするけど結局全容量への想定し ましたって言ったりしたっけ。
0:29:15	日本原燃の奥でございます。
0:29:20	健康前とちよつと
0:29:24	また、次になっていくんですけれども有毒ガスの防護措置として考えないとい けないのテーマ防護対策として考えないといけないといろいろあるんですけど 今の最終的に全量漏えいを考えますって言うてるのは有毒ガスの検出装置を 考えるときに、
0:29:41	いろいろな条件で検層値っていうのは考えないといけないんですけどもそれを 一つの評価で一気に説明してしまうときには全量漏えいというのを考える、考 えて評価をするとそういう意味です。一方でその防護対策として例えば、
0:29:58	防護具をつけるとか、そういったものになっていくともう少し等現実的な評価を して重大事故の屋内のときにはこういうものがSAの瓶条件だとかこういうものが 漏れますというところを評価して、
0:30:13	ええ等を説明していくと、そういうようなちよつとオオバ場合分けをして評価条 件を設定するというのを考えております表タジリです。破綻なんですけど、や やこしいことはしないほうがいいというだけテレビ出ていただいている資料がない から、イメージが湧かないかもしれないんですけど。
0:30:30	何か結局想定したのってやつは日開放まででなくてもいいんですけど、整理し て示してもらったほうがいい気が私します
0:30:38	今のお話だと形式的としては全量漏えいのやつで設置接地しないよう決めた んだけど、ほかの条件のときは電流想定じゃないんですよっていうような多 分場合や携帯こと言われた気がするんですけど、なんで酸素人脈形成って いうふうに言われたときに、いや、ここはガイドでここはガイドじゃないんじやない かよくわから説明になりは気もするので、
0:30:57	どういう考え方でやりましたよっていうのを示してもらえばいいと思っていて、
0:31:02	何かややこしいことをし過ぎないほうがいいっていうだけ日程とどめますなん かちよつと今、何かやりすぎると混乱するような気もするのでとりあえずとどめ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	るつけとりあえずゲームし過ぎない程度で、ただとりあえず整理を1回示してくださいねと聞いております。とりあえず以上です。
0:31:20	コサクですけど、タジリが言ったところで理解してくれているかどうかということではあるんですが、オクデさん言われたときに、DBAって言われた延ばす引っかかっていますね。
0:31:35	我々が言ってるのは、DTPAの条件で、健全性を確保とかってそういうことじゃなくて、DB設備はDB設備、
0:31:45	て考えるべき事象レベルがあり、それに対して防護すると。
0:31:52	いう考えでDB設備一式整理されてたよねと。
0:31:58	そのレベル感を
0:32:01	超える場合、或いは特にDBAの場合は、内部事象としてそう整備したものの片系が機能しなかった場合というようなことなんですけど。
0:32:13	そういったところでもう
0:32:16	安全が確保できるかっていうのを確認する行為
0:32:21	であると。
0:32:22	いうところで、
0:32:26	もともと過渡事象、事故事象は、そういったことを考えながら設定をしているはずで、今回有毒ガスのこの話が出たとしても設備は変わってるわけじゃないんだから、
0:32:41	その事象選定は変わらないはずであって、
0:32:45	なぜそれぞれごとに話をしなきゃいけないのか、具体的にDBの世界で通常時過渡時事故時について有毒ガスの防護の考え方を変わってきますって言う必要はないんじゃないかなと思ったので、何で分けていってるんだらうなど。
0:33:04	思ったのが一番大きいところです。
0:33:07	大きく違うのはDBとSAはやっぱ違って、先ほど言ったDBの部分をレベルっていうのを超えた状態を想定をして自己設想定をするので、その想定状態で機能できるように設計をするというのが、SAの設計条件、
0:33:25	ということなのでSAとDBはそれぞれ話をする必要がありますよね。それが一番大きなポイントは地震動がSSか、一定にするかというような意味合いってことだと思っておりますので、SAの場合は、
0:33:42	自然現象の対応と内部事象の対応で条件を変えているので、その辺りが逆にそのDDTは行って一連でいいんですけど、SAのほうはその考えで、
0:33:54	一応おさらいしておく必要があるかなっていう気もしたんですけどそこはどうなってますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:06	日本原燃のオクデでございます。SAの部分についてはですね等外部と内部で考えることは違うというふうなことは我々も認識しております、内内部事象ですか、正式なような臨界とか、
0:34:23	有機溶媒火災なんかはもうすでに許可の段階でもその地震で起こるようなパーク薬品漏えいとかとは重畳しないと、そういうような整理もしてますので、我々の有毒ガスの観点でも、
0:34:39	同じような整理をするというふうに考えております。プラスしてすみません先ほどあったDBの世界で一つ一つ細かくっていうのは我々もそのDBの世界のDBのそのレベルは
0:34:54	発生防止拡大防止影響緩和それぞれで同じだということは認識してたんですが発生する事象がちょっと発生してくる事象がちょっと違うというのもあってそこも含めて細かく分けるっていうことを考えてたんですが、DBのレベルっていう意味では
0:35:12	まだDBとSAが大きく分かれるというような認識は持っておりますので、そういうように整理をするというのを考えておりました。
0:35:23	コサクです。何かあったような内容でよくわからないんですけど、でDBのレベルっていったときにそれをその各事象あのです例えば自然現象だったら、竜巻、火山、
0:35:38	津波地震運転いう並んでってそれぞれ方策を販売ということなので、そのレベル感で化学薬品なり有毒ガスの発生原因になるようなものが、
0:35:54	どういう影響をおよぼし得るのか、
0:35:59	それに対して、その事象のときに必要な機能っていうのを満足するように対策を講じる必要があるのかと。
0:36:08	いうのを一つ一つ潰し込んだっていうことで説明されてると思えばいいんですよ。
0:36:17	日本管財のオクデでございます。そういうようなことを考えております。
0:36:23	はい、コサクです。そうするとA地震津波その他が外部事象
0:36:33	と。
0:36:34	あと何事象と考えるのライブ事象としてどんなふうに考えますか、火災防護とかそこら辺のやつとか、どう考えますかっていうのを、
0:36:42	一石ざっと言ってみてもらっていいですか。
0:36:53	日本原燃のオクデでございます。いいし、日
0:36:59	どうそう考えるべき事象意識、しゃべるという意味であれば
0:37:05	内部火災結晶ね内部火災と
0:37:12	伊藤外部衝撃で言えば外部火災火山、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:16	その他の外部衝撃というところで、
0:37:21	有毒ガス立ったり河崖の漏えい 11、時遠いし、あとは溢水精鋭等、
0:37:30	アーク薬品の漏えい、そして地震。
0:37:33	どうですか、そういったものになると思っていてこれらについては、基本的にはすべて
0:37:40	こういったものに対してませ設備だったりって最初にせずの安全を守るという、そういうような整理にしております。
0:37:52	コサクです。内部事象外部事象大分ごちゃまぜにして言われたので、
0:38:00	頭の中で整理はできなかつたんですけど、基本的には外部事象内部事象で来許可で考慮している事象一式を見ていきますと、その 1 見ていくときに、今日①なり丸 2 で言われたような
0:38:16	注意するポイントっていうのを漏らさないように、
0:38:21	しっかりと検討しますというふうに思えばいいですか。
0:38:29	日本原燃オクデでございます。そうです。すいませんもしかしたらオオオカ外部事象、内部事象って言っている言葉が私ももしかしたらなんか合っていないような今気がしました。私私の中では、
0:38:47	今しゃべったやつで全部外部事象に当てはまるものだと思ってたんで、今コサクさんが
0:38:54	内文章と外部事象紅茶までと言っていたのでちょっと言葉の定義として何か認識が合っていないような気が。
0:39:01	しました。
0:39:02	はい。補足ですが、それであれば、既許可の人たちに話をよく聞いてもらいたいんですけど、僕らが言う外部事象内部事象っていうのは、条文としては地震津波と外部衝撃と言っているところの条文で書いてある自然現象と人為事象、
0:39:22	が、外部事象です。
0:39:24	なので、確かにしている施設内の屋外のやつからの溢水とかですね。
0:39:31	タンクローリーで云々とかっていうのは外部事象に入って、
0:39:35	いるかと思います。一方で、それ以降に来る条文対応内部火災だったり内部溢水、薬品漏えい。
0:39:44	こういったものは内部事象と呼んでます要は施設内原燃が何とか設計で考えられる。
0:39:54	事象と。
0:39:55	ということなので、それは内部と呼んでいて、定常部分直接は書いてないですけど、事故想定との関係だと原燃の施設が壊れる或いは誤動作をすると。
0:40:10	言ったようなことも内部事象です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:14	ご理解いただけますでしょうか。
0:40:17	これ日本原燃のオクデです。理解しました我々我々低下側の私が今説明しているときに外部事象内部事象ているような話言葉を使っているのはどちらかという
0:40:32	安全機能を有する施設から見たときにそいつ自身が何らかのその例えば想定破損とか単一故障とか、そういったものをするのを内部、内部事象でそいつに対して何らかの攻撃をするもの、それを外部事象と考えてたので、例えば溢水とか、
0:40:50	化学薬品のもうこの設備から見ると、外部からくる荷重だったりするので、別途外部事象というような言葉を使ってきました。ただ既許可のときにはどちらかというの外部事象内部事象ではなくて、外的事象、内的事象とかを使っていたと。
0:41:08	記憶してますので、そういう説明のほう为正しかったと思います。
0:41:14	コサクです。わかります。以上です。はい。
0:41:18	そこら辺の微妙な表現の違いは審査書と申請書とかいろんなところで
0:41:26	それぞれの流域で作ってたような気もするので、何をいわんとするのが最初にはっきりと言ってくれば理解はできると思いますので、とりあえずやってることは何となくわかりました。
0:41:45	会合での説明のときにここの想定設計上想定する事象ごとについて再整理と言ってるのはどういうことかというのが、こういった視点から誤解のないように伝えていただければと思います。以上です。
0:42:00	日本原燃のオクデでございます承知いたしました。
0:42:06	規制庁とか設営等その他何かで確認事項等ございますでしょうか。
0:42:16	規制庁タカナシですねちょっと今の話では関連するんですが今ちょっと例えば設計上考慮する事象については英語会合でそれなりに誤解がないんで説明というのがあったんですが、先ほどからちょっと確認していたような何ですかね、記載がちょっと
0:42:34	資料上制約があつてちょっと垣根追いついについても、介護の方で誤開ハラないようであれば御説明いただければと思いますので、その辺のところは確認ができる程度説明というような形で理解をいただければと思います。
0:42:52	日本原燃のオクデです承知いたしました。
0:42:56	規制庁の谷です。海盆まで直せつちゅうわけではないですけど、ちゃんと整理して御説明できるようにしといてくださいUD幾らかだけスズキますと、
0:43:06	〇〇7 ページとかで、上のほうからまずPOSで言うと、有毒バス母体両者及びその他安全確保のための対応を行うよい気圧がいて、防護対象者以外のこ

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	の何とか要員って誰だけとか何か言ってラブAFC制度でも何かハラれてしまう可能性があるんで、何も効かにはどうすみ分けをして、
0:43:26	ちょっとよくわからんと困るので、という言葉とかはちゃんと精査を対象者っていうのが対象者以外に何か漏れているだけなのかよくわからない話になりかねないので一つ整理して欲しいの増次bとさっきの影響評価って書いてるんですけど先にいい評価それだけみたいな感じになってタケダするので、どの影響評価だけとか、
0:43:45	僕は対策のところ対策の優先順位ちゆう話が出てきたりするんですけど、いうところが対策で優先順位もくそもなかったからっていうところもちょっとよくわからなくなってますくっつけるか関係者からは遮断するかっていうところだと思っうんですけど、そその程度のことかなと思ってるんですけど、何か融点Qp始めると。
0:44:05	手順どうするよとかじゃあ判断基準とする限る考えなきやいけない気持ちとして行っちゃうので、そこらとかもうなんか、どういう意味で使おうとしてるのかっていうところを説明できるようにして欲しいとか悪いのPDCA成立性気圧が増えてきたんですよ。たった分岐許可熱改めて確認しますよ程度だとは思いますが。
0:44:24	成立性ってどう何を補足するだけなのか、今後でいいんですけどどういったことをやろうな説明やしようとしてるんですよっていうところは準備をしっかりとスズキいただけるな混乱が生じないかなという気がするんで、よろしく願います。はい。
0:44:39	コサクです。ちょっと補足して、
0:44:43	いうと、防護対象者のところはちょっと言葉が踊っているんだと思うんですけど、本来の実施事項って書いてあるところは平たく、
0:44:56	対象者回定検の対象が誰かっていうところはあまり明示していないと。
0:45:02	いうことかなあとって。
0:45:05	一定で一方でこれまでののっていったところは、括弧内のものに限定しちゃってましたと。
0:45:12	いうことなので、今後整理すると言ってるところのものはさっきのつとってるのはこれまでののっていうところであって、
0:45:22	これまでのものに、それ以外の一般的な要員も含めて考えるというのが改めて本来の実施事項で言ってる対象者だと。
0:45:34	いうふうに再整理をしてるっていう理解にですかね。
0:45:41	日本原燃のオクデでございます。その通りでございます。すいませんわかりにくい文章になっています。従って、そういう理解でいただいて大丈夫です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:51	はい、わかりました。
0:45:53	なかなかそういう読みにくいので、ちょっとだけ工夫していいかなとは思いますが。あと一番最後の成立性もう多分これSAの対策成立性を意識されていて、
0:46:11	本当にできるんだよねみたいなのも念頭に置いて設計してますよっていうことを言わんとされてるんだろうなと思ってんですけど。
0:46:21	こういったDBのほうとかもこれかかるんですかね。
0:46:30	そういう意味ではどこあのSAっていうところを念頭に置いて記載した文章になっていまして、BDBAのところは基本的に時時間的になんかで、対策系を降時間的に
0:46:47	並べてっていうところではなかったのあまりそっちのほうは意識せずに文章を記載しているところがあります。
0:46:56	はい。補足ですわかりました。基本的にこの整理SMなんですけど成立性といったときってやっぱり人の活動に繋がるときにうまくシナリオは組んであるかというところのポイントなので、通常DBの場合は人に依存しない設計だからその話しないんですけど。
0:47:16	今回有毒ガスのところはある程度人の話も出てくるので。その点は必要な人数の部分がありますよとかっていうぐらいはDBも含めて話をさせていただいたほうがいいかなと。
0:47:29	いうふうに思います。
0:47:36	承知いたしました。
0:47:42	規制庁タカハシです。
0:47:46	ちょっと1点ちょっと作って便乗する形でありますけど、いわゆる今話での関連で言うと、その7ページの①の一番BのBの右側のところ先の検知手段とか、先ほどの防護対策っていうのは、この1言葉のやつを読み込んでいてそういうふうな認識で。
0:48:01	いいですよ。よろしいですよ。
0:48:06	その通りです。ちょっとその辺のところもちょうと少し説明ではちょっと特別だっということではちょっとお考えいただければと思います。はい。
0:48:17	はい。
0:48:19	これはプラスJNES承知いたしました切っ強調変わるわけです。ちょっと1点さっきの話綺麗わかんなかったのは整った安全確保のための対応を行う要員を
0:48:32	このもともとの本来本来じゃないかこれまでの対象者の
0:48:38	凸の部分っていうのは既許可で言うところの
0:48:43	決し組織の要員がポンプがすべて含まれてるのか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:49	その他安全確保のための対応を行う要員を含む。
0:48:54	短期ツガネこの今後整理するに書かれてる要因っていう理解で合ってるんですかねっていう確認です。
0:49:04	日本原燃のオクデでございます。重大事故のときに対処をする要員っていうのはあの頃までの実施事項として、さっきの有毒ガス防護対象者に入ってるんですけどその他の安全確保のための対応を行う要員というのが、
0:49:21	これがどういった人を想定してたかという、例えば収束活動7 有毒ガスが発生したときの収束活動を行う要員であったりとか、あとDBのところではまず基本的に設備で守るんですけど例えば
0:49:39	化学薬品の漏えいが起こったときにその収束対応を行う要員と、そういったところこれまでの実施事項のところでは出していなかったのも、そういった人達もきちんと守るために整理していきますとそういうようなことで書いております。
0:49:56	規制庁かわらせず、ホッカントラック一番多かったんですけど。
0:50:02	具体的に言うと我々としての実施組織の外にいる人も含むということだと何かそこら辺の人って既許可の申請書上は支援組織の一部の人っていうことですか。
0:50:16	日本原燃のオクデず、トーセへと支援組織の人も守る対象ということで挙げてあげることにしてます。
0:50:25	規制庁からセールスわかりましたありがとうございます。
0:50:29	規制庁コサクですけど、SEの体制というよりはDBの通常の施設管理をしている人達っていう
0:50:39	ほとんどの意識の方がより正しいように思います。
0:50:46	日本原燃のオクデです。それで先ほどの収束活動云々とかいう話をさせてもらったのはやはり通常の施設管理をしているときに、設備の当監視だったり操作だったりをする人がいますので、そういった人達のことを念頭に置いて書いております。
0:51:07	規制庁カワラサキば認識改めまして、わかりました。ありがとうございます。
0:51:14	規制庁タカナシです。その他何かございますでしょうか。
0:51:23	閉合原燃の花田でございますよろしいでしょうか。どうぞお願いします。
0:51:29	ありがとうございます。
0:51:32	83 とオクデのやりとりですね、
0:51:36	PARのいろんなの有毒ガスの評価の中で使っている全量漏えいの扱いこれがどこに行くのかっていうようなやりとりがありまして、まず我々そのえっというスクラムの発生の添想定のところでは内部事象外部事象考えて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:52	それで、例えば薬品のタンクなんかこう上げ事象であれば、そのときそのときは、薬品の漏えいが想定されるので。そこから有毒ガスの発生も想定しますとか、その辺りを一つ一つの内部事象外部事象に対して、
0:52:08	有毒ガスが発生しうるのかってところの整理はしていくところ御説明した上で呉のほうからは、
0:52:16	等とはいえ、あの検知装置の評価のところでは前土井善良三仮定すれば、それは把結局が全部壊すことになっているので、それが全体を包絡した評価ができるので。
0:52:31	それぞれで検知装置のいろいろ内容の判断をしますというようなことを御説明をしたときに、
0:52:40	あまりタジリさんからあまり腰ことはしないようにってことを言われた趣旨がですね、あまりわからなかったら整理であれば、要は対象選ぶだけは増えている部屋徹底で紫になぜこれぐらいしかもらえませんかよって言ったところを評価上のところでしっかりできるようにしてますよっていうじゃ。
0:52:57	他にGuideっていうことは全部消してってこの全量漏えいという話が全くなくなってしまうと、いや、ガイドで想定してるようなやつよりもいわゆる輸送で世代が最後のこれでよくないなってところがあったので、そこで何かさらに何かよくわから細かい場合分けみたいな話がちょっと出たんで、何か変なことしたらいいかなっていうふうに言っただけなので、
0:53:16	今お話しされたようなことであれば別に理解間違っていないと思うので大丈夫だと思います。
0:53:21	コサクです。ちょっと。
0:53:24	私が心配なのタテウチの話からちょっと心配したのは、
0:53:28	計装装置の設置のときの想定だけ全量で防護具の配備については全量じゃなくて、漏えいしか考えないと。
0:53:39	というようなことだとタジリのもとと心配してた場合分けをしていて何でこっちはこうでこちらのほうなんですかみたいなことになるんじゃないのかと思うんですけど。
0:53:50	その辺りは、
0:53:51	どう考えてます。
0:53:57	うん。
0:54:00	ね。
0:54:03	日本原燃の原でございます。
0:54:05	今考えておりましたのは、その外す有毒ガスの発生の要因から／考えるってところでベビーの中では、その計数装置の評価のところがありますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:21	全量同様に想定した評価をするということを考えておりました。かつ防護対策も同じようなレベル感で考えるということを考えておりました。一方そのSAのところでは規制庁でも、そのSAなコサクですから、なぜ
0:54:39	リスケすれば管無視していただいて結構で、
0:54:43	DBのところを使い分けなんかしてますかしてませんか。どう考えてますかっていうことなんですけどしてないっていいんですか。
0:54:53	日本原燃の原でございますDBの世界では使い分けをしないということで考えておりました。
0:54:59	わかりました。ちょっと僕の配当同じ同じ条件で考えるということを考えておりました。以上です。はい、わかりました。その上でSAと言われてたのはSAは何か使い分けしてるってことなんですか。
0:55:17	うん。
0:55:18	日本原燃の橋でございます、SAのときには、塩素の内的のSAと外的のSsというものがあって、まずそれによって環境条件が全然違うというところがありますので、その金から考えていくってそのものの物事の考え方を今、
0:55:35	は御説明しようとしていました。以上です。コサクです。わかりました。その意味では現状のSAも内的外的大分違うので、理解できます。以上です。
0:55:47	規制庁と規制僕がさっき言ったのも何か必死だからそのDBAの中での場合ガイドが聞こえたピアしたいんですけど、負担しているだけなんだと思ってるだけで系統あれっと思ってるかさっきあの改めて計算結果がそんなにならなかったんであたりとかと思えますって言ったのか、先ほどの趣旨です。
0:56:10	日本原燃の原でございます。ありがとうございます。オクデぐい遅れが痛かったことも同じことでしたので、はい。我々としたそういう方針で進めたいと考えております。以上です。
0:56:25	検討のタジリですついでになんですけど、これ海盆は当然 23 にある 10 μ ササキのスズキさんにあると思うんですけど。
0:56:33	資料とかの提出は何かわざわざ聞いてたりはするんですけどいつごろを目指してとかってありますか。
0:56:46	23 割までは何もいいですっていうだからそれはそれから思うので日には無理にというところにもなって作業をちゃんとしっかりしたものでしてくださいねっているんですが要望であるので行きますなかったら特に問題はないです。はい。
0:57:02	日本原燃のオクデでございます。資料の提出はちょっとわかりにくい部分もあるというところもあるので修正しまして通す／遅くとも火曜日には提出するとい

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	うことを考えております。すいません。僕が言った資料っていうのはある会合資料は随時行きて最終決定を私なきやいけないわけだし、
0:57:21	まさにねっていうのがまず一つと、これを踏まえた上で基準の中身の資料の中で水漏れがまだ聞けないんですけど、そこに関しては介護なりある程度方針としてはそうだよねっていうのが決まった後にスケジュール提示してもらおうということでもいいですかね。
0:57:37	でございますすいません勘違いしました伊藤層そういうような認識にしている、
0:57:42	認識で問題ないです整理資料のところ、ここで整理させてもらったところは、政令資料のところを修正するということを考えておりますので、その修正して御説明するスケジュールについては、また別途ちょっと提示させていただきたいと思ってます。
0:58:00	達成度で了解しました。
0:58:04	はい。規制庁タカナシです。多分今は作りに少し関連しますけれども見学KK今後望ま進め方の話ですとかそれからちょっと中身の例えば具体的なところですね、については、資料見ながら確認ということになりますのでそれはまた温めてですね、その辺のところ固まったところで、中に置いていただきながらですね、調整をして確認を進めていきたいと思えます。
0:58:24	なので、引き続きご検討の方をお願いいたします。
0:58:31	日本原燃オクデでございます承知いたしました。
0:58:35	はい。規制庁タカナシです。規制庁タカナシですねその他何か減額していただいても構いませんけれども、確認等を報告漏れ等ありましたらお願いします。
0:58:53	日本原燃オクデでございます。すいません。今後の説明のスケジュールスケジュールというか資料の提出の仕方について一応確認させていただきたいことがあるんですけども、以前にですね
0:59:08	この資料の提出させて整理資料で提出させていただくんですけども、意識すべて大飯域に上げるのではなくてある程度まとまったブロック単位で提出しようと思ってます。具体的には
0:59:22	その各条文のその関係性とか整理した資料等、あとは有毒ガスの発生原因についての資料が9条関係の資料でもう一つが設計基準に関係するような26条とかに20とか26条に関係する
0:59:41	当単位で最後が重大事故に関係するところとそういう三つぐらいのブロックごとに提出してヒアリングの場で説明させていただこうと思ってたんですけどもそういうような認識でよろしいでしょうか。
0:59:57	規制庁田尻です。やり方を多分流体おまかせっていうところは率なんですけど、それっていうのは何か準備できるのが遅れるものがある場合っていうこと

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ですかね田舎準備で意見だったら、ヒアリングを3段階に分けてもいいんですけど、資料1引き出せるんだったら出してもらえばいいのにとは思うんですけどなんか、
1:00:17	第一段階までには四つの部分の資料しかできないからとかそういう意図ですかね。
1:00:25	日本原燃のオクデでございます。意図としてはですねこれはちょっと事業者側の都合というのもあるんですけども、今言ったこのブロックの中で共通整理しように共通して今既許可でこう書いていて今回鴻巣っていう所提出させてもらう資料が、
1:00:44	人作ってるところなんですけども、その作り方についてですね、まだ十分にその両者の認識が合っていない部分もあるというふうに今認識しておりますので、まず来こう段階的に出すっていうことにすることによって、
1:01:02	まず1回目に出したやつで、そこにの部分について、コメントがあればそのコメントを踏まえて0にその以降のブロックのところに展開したものを提出させて見てみていただくというほうが合理的にするものではないかと。
1:01:18	いうふうに考えているので、そういうふうに提出させてもらおうというふうに考えておりました。
1:01:24	規制庁田尻です。なぜ現在の資料の作成とかページ
1:01:32	必要ないように時間とか、中身詰めの2とか案の中に幸せからとかっていう考え方が特別に指定するもんでもなくて、新たに先ほど僕が言ったのはある今までっていうのは、要はコメントを受けて直していくときに、順番に話の内側っていうと
1:01:49	準備の関係もあるのかなと思って聞いていたので、それについて
1:01:55	年明けなんだと思うんですけど資料出てくるときに止むを得ません時間を組んで予今まで土地利用データ集めてもできますっていうんだったらシミズで示せばっていうふうに言ったつもりだけなので、別に採用した通り、利用者としての勧めたやり方っていうのを説明してもらいつつ、
1:02:12	費用出してもらえばいいかなと思うんですけど、何か先ほどの想定レベルの話とか何か考えるときだほうがいかなってやつがあるんだったらもはや店危惧するなりはしておいたほうがいいのかと思うんでそのあたりを適時検討いただいて用意いただければと思います。具体的なスケジュールは会報たつてもね、大丈夫かなと思うんでよろしくお願ひします。
1:02:35	日本原燃のオクデでございます承知いたしました。提出するにしても優先順位といいますかまず最初に説明したほうがいいのかというふうに考えられるものは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	最初に説明するとそういうのが区分して提出させていただきたいと思います。 ありがとうございます。
1:02:56	はい、規制庁の高橋です。その他何かございますでしょうか。
1:03:07	はい。規制庁とか発生するのはないようでしたら、本日のヒアリングはこれで 終了させていただきましていただきたいと思います。
1:03:15	よろしいでしょうか。
1:03:17	。
1:03:23	山根鈴木でございます。その認識で結構でございます。
1:03:27	はい。
1:03:28	規制庁タカナシですそれでは 6 オクデにいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。